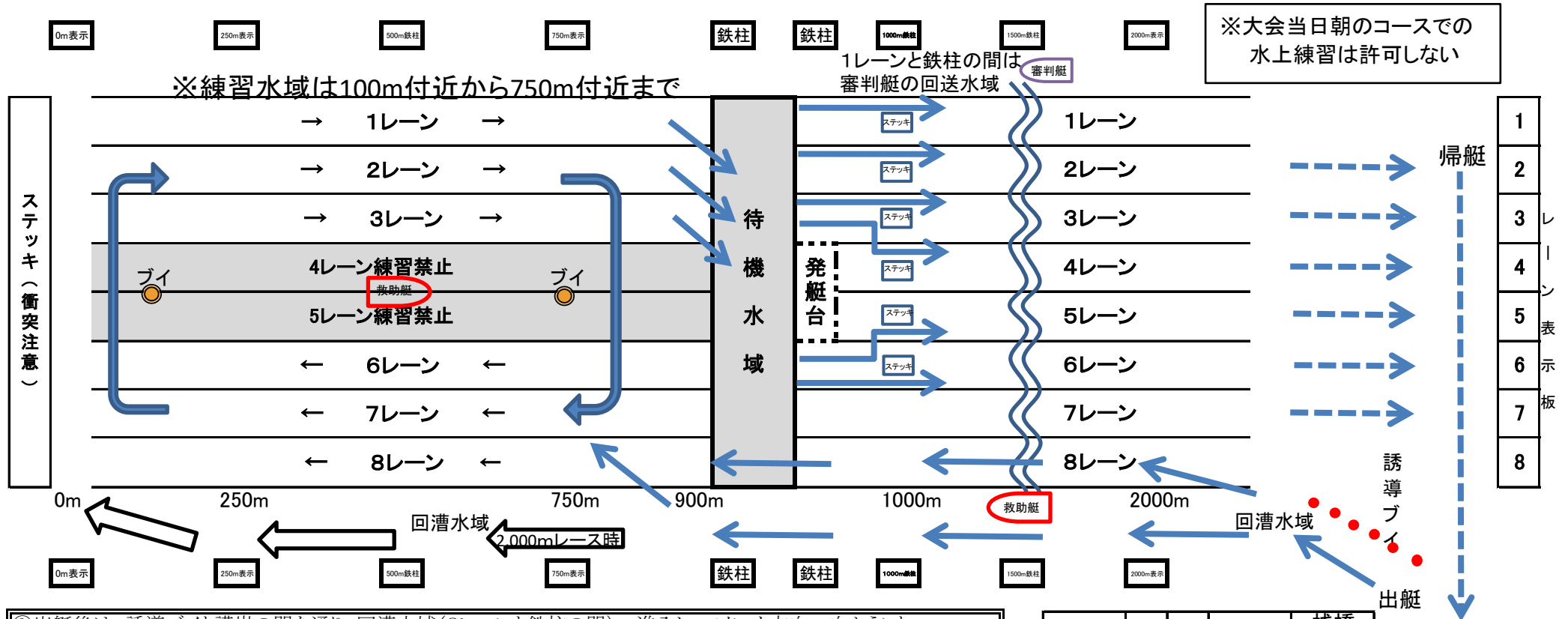


大会当日の艇の動きと練習水域について



- ①出艇後は、誘導ブイと護岸の間を通り、回漕水域(8レーンと鉄柱の間)へ進入し、スタート方向へ向かうこと。
- ②競漕がおこなわれているので、回漕水域では、競漕の100m手前から競漕が通過するまでは停止していること。
- ③900m付近の鉄柱を過ぎたところから、6～8レーンの上りの練習水域へ進入し、漕行すること。
- ④100m付近のブイを目安にターンし、1～3レーンの下りの練習水域を漕行すること。
- ⑤練習水域の途中でターン(4, 5レーンを横断)する時は、周囲の艇の動きに十分注意し、接触や衝突しないこと。
- ⑥750m付近のブイを目安にターンすること。(待機水域へは進入しないように注意すること)
- ⑦自己のレースの発艇時刻が近づいたら、待機水域へ進入すること。(風で練習水域へ流されないように注意すること)
- ⑧レースの呼び込みがあり次第、ステッキの横を通り自己のレーンに入り、バックローでスタートのステッキにつけること。
- ⑨ゴール後、レースが成立したら、誘導ブイとレーン表示板の間を通り、栈橋へ向かうこと。

※2,000mレース時には、練習水域を設定しない。よって、出漕クルーは、スタートのステッキにつけるまでの回漕のみとする。